

## 刊行によせて

埼玉県東松山市は、関東山地と関東平野の間に位置し、丘陵、台地、沖積地と地形変化に富む自然豊かな地域です。そこに住む多様な生き物たちは、私たちの住む地域にとってかけがえのないものであり、次世代へと伝えていかなければならない貴重なものです。しかし、近年では市内の開発も進み、環境も大きく変化してきました。

一方で、これまで自然の生き物に関して、まとまった当市の調査などの記録はほとんどなく、基礎資料となるものはありませんでした。

そこで、東松山市教育委員会では、内田博文化財保護委員のご協力を賜り、16年にわたる動植物実態調査を実施いたしました。本書はその成果報告となります。調査結果において、外来種の侵入も加わって、以前にはどこにでもいた生き物たちが見られなくなっている状況もわかってきました。

本書に詳述されている野生生物たちは、緑と清流をかかげる東松山市にとって、貴重な財産です。本書が、東松山市の自然を見つめ直す契機となり、今に残る自然への興味・関心を抱くひとつのきっかけとなりましたら幸いです。

ご協力いただいた方々、ご指導・ご支援をいただきました関係者の皆様に対しまして、厚く御礼申し上げます。

令和2年3月

東松山市教育委員会  
教育長 中村 幸一



## 目次

1) はじめに	1
2) 調査方法	2
3) 各調査地の調査ルート図	3
4) 各調査地の環境と結果概要	4
調査1 巡目の調査状況	
大谷瓦窯跡調査地（2003年）	4
比丘尼山調査地（2004年）	5
東松山市民の森調査地（2005年）	9
都幾川・神戸大橋～鞍掛橋間調査地（2006年）	11
都幾川・唐子橋～東松山橋間調査地（2007年）	14
市野川・市松橋～境橋間調査地（2008年）	16
滑川・野田、中橋～東平、松平橋調査地（2009年）	18
高坂地区宮鼻調査地（2010年）	20
調査2 巡目の変化状況	
大谷瓦窯跡調査地（2011年）	21
比丘尼山調査地（2012年）	23
東松山市民の森調査地（2013年）	24
都幾川・神戸大橋～鞍掛橋間調査地（2014年）	26
都幾川・唐子橋～東松山橋間調査地（2015年）	28
市野川・市松橋～境橋間調査地（2016年）	29
滑川・野田、中橋～東平、松平橋調査地（2017年）	30
高坂地区宮鼻調査地（2018年）	31
5) 調査地全体での代表的な種の図と説明	32
鳥類・・代表種説明＋センサス結果の分析概要	35
哺乳類・・代表種説明	52
爬虫類・・代表種説明	55
両生類・・代表種説明	59
魚類・・代表種説明＋過去のデータとの比較	64
昆虫類・・代表種説明	73

クモ類・・代表種説明	155
ザトウムシ類・・代表種説明	169
甲殻類・・代表種説明	170
多足類・・代表種説明	172
軟体動物（陸生および淡水産貝類）・代表種説明	174
植物・・概要・代表種説明+過去の調査結果との比較検討	179
菌類・・概要・代表種説明	244
6) 資料	
生物調査全体確認種	256
（年ごとの類・科・種確認数リスト）	
調査地別出現種リスト	260
（各調査地・年度における各生物の出現状況）	
各調査地の鳥類センサス	332
（各調査地・年度における鳥類の出現数状況）	
7) 参考文献	374

## 謝辞

本報告をまとめるにあたって、柳沢裕（植物）・村田紀彦（菌類）・沖浩志（両生・爬虫・哺乳類）・大沼 尚（昆虫類全般）・奥田恭介（半翅目）・伊賀雄一（水生昆虫類）・川村 敦・島村あかね（魚類）・菊池亮（植物）の各氏には種同定などのアドバイスを頂いた。この場を借りて感謝いたします。